



## 雪解けが進んでいます

# 河川周辺に 注意を

子供が春休みに入る  
今の時期が危ない

これからはさらに気温が上昇し、雪解けが一気に進みます。また、幼稚園や学校などは春休みに入ります。今までは学校などへ行っていたり、日が短かったりしたため、子供が大人の目の届かない状況で野外で遊ぶということが少なかったのですが、休みに入るとそうはいきません。子供たちはボカボカ陽気に誘われるままに野山はもろんのこと、川や沼などへ一斉に飛び出すことでしょう。しかも子供たちだけで。そうすれば当然雪解け時の川や沼などの危険に遭遇する可能性も高くなるわけです。

雪解け時の  
水の怖さを知ってください

周辺に雪がなくても川の thượng部にある高い山などにはまだ雪が残っているものです。気温が上昇したり、雨が降ったりするとそれが一気に解け出し水かさが増すのです。雪解け時の川や沼などでの危険な点の主なものは次のとおりです。

河川

増水するとただ単に水の量が増えるというのではなく、流れも速くなります。また、今まで浅かったところでも、その急な流れに川底が削られ、川岸が急に深くなったり、柔らかくなって崩れやすくなっていたりします。しかも、水が濁っていることからそれを確認することができないものです。さらに、普段よんでいるようなところでも流れが発生するようになります。

辺りの雪解けが目に見えて進み、野や山では地肌も現われ、フキノトウが顔を出するなど、すっかり春らしくなってきました。

こうした時期に怖いのが雪解けの増水などによる水難事故です。水難事故と言えば「夏」と思われがちですが、雪解けで増水した河川は流れも速く危険がいっぱいです。

昨年は雪解けで増水した川に転落するなど、川における事故で二人の幼い子が亡くなっています。このような痛ましい事故を二度と起こしてはなりません。このほか、一つ間違えば死亡事故につながったというものも数多くあったものと思われます。水の怖さを再認識し、市民みんなが事故防止に心掛けてください。